



小川 純文
議員
(政清会)

問 昭和24年に第一回敬老会が開催されて以来、平成23年までに62回の開催をみた当行事は、町主催の行事としては長い歴史と経過を有するものである。

しかしながら、高齢化社会へ向かう状況は幕別町も同じで、対象者の人数は増加の一途を辿り、会場の収容人数を超える参加数や料理等の衛生管理、また相対的な参加率の低下等の問題から地域開催方式へ移行する事だが、その内容について伺う。

①地域開催される敬老会の内容については。
②地域（各公区）への開催要綱の説明と周知は。
③敬老祝い金と敬老感謝に対する考え方は。

町長 ①地域敬老行事開催奨励金制度は、公区が主催し、公区内に在住する77歳以上の高齢者を同一会場に招待していただき、敬老

問 敬老会の開催と方策は
答 公区で敬老行事を開催していただき経費の一部として奨励金を交付する

の行事を開催する経費の一部として、対象者1人に対し1000円を乗じた額を交付する。

②2月末に幕別町老人クラブ連合会に対し、敬老会の廃止と奨励金の考え方を懇談し、公区には新年度予算議決後に、具体的な内容を各公区長等に周知したい。

③現在、実施している敬老祝い金制度、80歳1万5000円、米寿2万円、100歳5万円と記念品は今後も継続していきたい。9月の敬老月間に広報紙等で敬老意識の啓発に努めたい。

問 子ども医療費助成の拡充で子育て支援を
答 医療費負担の軽減と環境づくりの充実を図っている

問 岡田町長4期目の政策として、12歳までの子どもに対する医療費の助成が全ての医療費に拡充されて昨年の10月から施行

されているが、現状等について伺う。

①対象者の人数と扶助費の状況は。
②対象外の要件と今後の拡充については。

町長 ①平成23年1月末現在で、未就学児1438人、小学生1474人で合計2912人となっている。

扶助費は、平成23年3月分から12月診療分までの合計額は約5261万7000円となっている。

②生活保護法による保護を受けている者では、未就学児19人、小学生17人で合計36人、また、所得超過者では、未就学児43人、小学生51人で合計94人となっている。

所得基準には、「幕別町子ども医療費助成条例施行規則」において、児童手当法施行令に定める額と規定している。

再質問 ①老人クラブや公区等未加入者への対応策と、多くの参加

となるべく取り進め方は。
②地域間で連携の取り合った開催に向けた町としての支援体制は。

答 ①対象者の情報を提供させていただき、敬老会活動も公区とすれば一つのコミュニティ活動の一環というところで、公区でぜひ実施していただけるように、町としては最大限努力していきたい。

②全体での敬老会はやめ、地区別になる周知は公区長にしてあるが、要綱などの詳細について、公区長会議や老人クラブの研修会等の機会に説明させていただきたい。

①地域敬老行事開催奨励金制度の経費

	対象者数	H24予算額
77歳以上の方	3,270人	3,270,000円

②敬老祝い金制度の経費

	対象者数	H24予算額
80歳	258人	3,870,000円
米寿	146人	2,920,000円
100歳	6人	300,000円